



～ 礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『自信』

自らが何かをしようと考えたとき
幸せや不幸が生まれてくる
誰もが不幸を望んではいけない
それでも幸せの裏には不幸も生まれる

人の世に生きている定めとして
必ず表と裏の世界は同居する
多くの人たちはいつの間にか闇に取り込まれ
己を見失うことになっていく

目に見える光だけを見て進んでいても
いつかは闇が道を遮ってしまう
暗闇に気付くこともなく無防備に進みだしたら
必ず落とし穴に落ちるだろう

それでも前に進んで行くしかない
生きている限り
命ある限り
前に進んで行くしかない

自らが選び進んでいく道
誰に言われたわけでもなく
自らが決め
自らが作り上げていく人生



自らが自らの考えを信じるしかない
自らが自らの行動を信じるしかない
自らを信じる事から全てが始まる
それが自信

自信を持つ事は大切だ
ただそれが過信になってもいけない
あまりに道はずれたら
目的地に辿り着く事はできないはず

周りをしっかりと確かめながら
自らの考えで前に進む
一番大切なエネルギー
それが自信

自らのエネルギーで進むしかないだろう
自分は自分だから
自らを信じる事が一歩前に踏み込める
自らを信じるから自らが進む事ができる

幸せと不幸の交錯する世の中
逃げる事は許されない人生
まずは自らを信じてみよう
自信から自進に変えるために

岡志天
活学塾